令和２年度「清流の国ぎふ」づくり

自然共生工法写真コンテスト

応募作品

No. 1 ～ No.14

主催　岐阜県自然共生工法研究会

共催　岐阜県

①

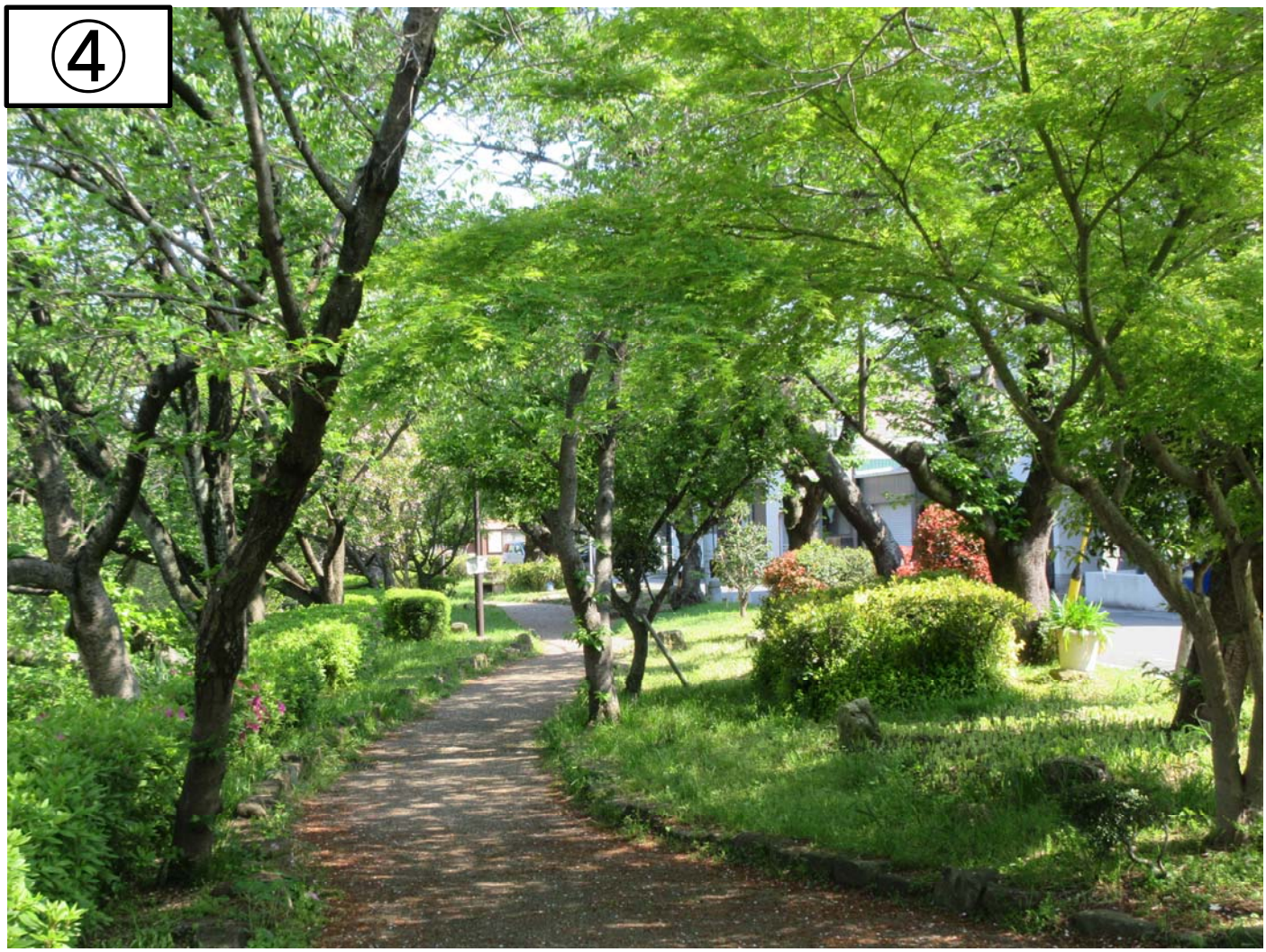
「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	岩舟川の春景色
撮影場所	岐阜市中川原５丁目（岩舟川）
撮影日	令和2年4月4日
応募者コメント	岩舟川は、上流に灌漑用貯水池として明治時代に整備された松尾池と岩舟緑地があり山々に囲まれた静かな雰囲気のところで四季を通して自然とふれあえるスポットです。平成24年頃に砂防河川改修工事（護床工）が施工され、自然と調和したものになっています。

②
清掃作業中

清掃後

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	自然と共存する水路
撮影場所	岐阜県下呂市萩原町上村地内（一関谷支流）
撮影日	令和2年8月21日
応募者コメント	最近の水路は三面張り水路が多いですが、地元の水路は敷張りがコンクリートではなく、自然の張石で出来ていて魚類の生息や昆虫(蛍)の生息が確認できる場所です。毎月一回の水路掃除を区民で清掃をして自然環境を守り続けています。

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	ホタル飛び交う伊自良川
撮影場所	岐阜市安食地内　一級河川伊自良川　井延橋下流
撮影日	令和2年6月8日
応募者コメント	平成9年に河川法が改正され、河川整備にあたり『治水』『利水』『河川環境』の3つの柱への配慮が主軸に置かれた。その後、各地で河川環境に配慮した川づくりに取り組む中、伊自良川の河川改修においても、河川環境に配慮した川づくりが取り組まれた。当該箇所は、河川法が改正された直後に設計・施工されたエリアである。当時、河川環境に配慮した川づくりの手法が手探りの中、当時の技術者が工夫を凝らして取り組んだものと考えられる。現在では、伊自良川の自然環境の回復も進み、ゲンジボタルが飛び交う豊かな自然が広がる河川環境が創造されている。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	清水川沿いの木陰のあるこみち
撮影場所	岐阜県岐阜市加納天神町
撮影日	令和２年４月２５日
応募者コメント	清水川沿いのこみちには、両側に木が植えられており木陰ができています。 また、こみちは清水川に沿って蛇行し、舗装の材質も工夫されています。緑が多く、歩きたくなる心地良い空間になっています。

⑤

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	苔むす神社
撮影場所	岐阜県美濃市乙狩（瀧神社）
撮影日	令和2年8月1日
応募者コメント	まるでジブリ映画に出てくるような神秘的なたたずまいです。 鳥居や灯篭や参道に苔が付き、自然と一体になっています。 私が訪れた日は、地元の方が草刈りをされていました。 適正な管理によって自然との共生が保たれています。

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	自然環境を保全するｅｃｏ工法
撮影場所	岐阜県郡上市八幡町有穂地内
撮影日	令和2年9月8日
応募者コメント	急斜面における樹木を伐採せず、そのまま生かしたのり面保護工法として、ノンフレーム工法を採用し１０年経過した事例下層植生もあり、健全な森林になりました。

⑦

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	棚田の原風景
撮影場所	揖斐川町春日美束
撮影日	令和元年9月23日
応募者コメント	「貝原棚田」は旧春日村の山あいに広がる3.5haの農地で、「ぎふ棚田２１選」にも選定されています。美しい景観、様々な動植物が息づく農地であり、水源涵養や洪水防止の役割も果たす貴重な地域資源として、「貝原棚田保存会」により保全管理されています。

⑧

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	耕作放棄地の再生
撮影場所	揖斐川町春日川合
撮影日	令和元年１１月１１日
応募者コメント	旧春日村の伊吹山の裾野に広がる豊かな農地であるが、農家の後継者不足により近年荒廃化が進んでいます。先人たちが守りつないできた貴重な農地を復興させるために、行政と地域が一体となって行なう「農地イキイキ再生週間」により耕作放棄地の再生に取り組んでいます。

⑨

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	河川公園「とみぱーく」
撮影場所	川浦川(加茂郡富加町滝田地内)
撮影日	令和2年8月30日
応募者コメント	令和２年３月に竣工した河川公園「とみぱーく」で川遊びをしている風景です。 川に入りやすくするために、緩勾配の河川を整備し、川沿いに自生していた樹木を伐採するのではなく日陰として利用できるよう残しました。

⑩

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	田村頭首工魚道
撮影場所	大垣市上石津町前ケ瀬地内（牧田川）
撮影日	令和２年９月１４ 日
応募者コメント	出水時の揚圧力で隔壁が破損しており、隔壁部の水の流れが乱れ魚類が遡上できない状態だった。破損部分を現場打ちコンクリートで補修することとし、既設コンクリートとの一体化や隔壁頂部は元の形状に類似させるよう工夫した。撮影時には魚道内で魚類を見かけることはなかったが、以前から遡上が見られたので、多くの魚が遡上してくれることを期待する。

⑪

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	霜之下頭首工魚道
撮影場所	大垣市上石津町上原地内（牧田川）
撮影日	令和２年９月１４ 日
応募者コメント	出水時の転石による衝撃や摩耗により、側壁が破損し魚道内の水の流れが無い状態だった。側壁を従前より厚くし、また最上流の側壁には堰側に傾斜したスロープを設け、洪水が直接魚道にあたらないよう工夫した。修繕後、数回の出水があったが、側壁の損傷や土砂の堆積が生じておらず、また、写真撮影時には、魚道プール内に稚魚も見られた。多くの魚が遡上してくれることを期待する。

⑫

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	親子がふれ合う小駄良川
撮影場所	一級河川小駄良川（郡上市八幡町初音）
撮影日	令和2年8月29日
応募者コメント	小駄良川は、中小河川ながら渓畔林が多く周辺の里山から川まで連続した緑の景観が創出されている。撮影位置は、河岸が緩勾配に整備され、人が近づきやすい自然な水辺環境となっており、子どもたちが安心して川と触れ合える遊び場となっている。

⑬

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	自然な水辺環境が回復した鬼谷川
撮影場所	一級河川鬼谷川（郡上市和良町三庫）
撮影日	令和2年5月12日
応募者コメント	平成２３年出水による被災箇所。復旧工法の検討にあたり、現地の流速からカゴマット護岸を採用。現地発生の表土を流用し、カゴマットに覆土を行い、植生の回復を促した。当地は、特別天然記念物オオサンショウウオを含む多様な生物の生息地であり、現在、周辺の植物や樹木と共に自然の水際環境が回復している。

⑭

「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト	
作品タイトル	何が居てるか！
撮影場所	（岐阜県管理河川：桂川）揖斐郡揖斐川町三輪地内
撮影日	令和2年7月21日
応募者コメント	岐阜県（揖斐土木事務所）の河川改修に際し、護岸を自然石で施工し、また流水量が平時の際は河川中央部のみとし、両岸にデッキを設けてある。 このデッキは歩行用インターロッキング張りであり、かつ随所に河川内へ降りる階段を設けたことにより、河川を単に危険な排水目的として分断することなく、人と自然の共生・融和・親和性を図ってある。 この夏のある日、河川内では水に入った小学生の嬌声がやまなかった。